

広島市平和記念式典に参加して

高根小中学校六年 須藤 みずき

教室で担任の先生から広島への児童派けんの話があり、最後に行ってみたい人」と聞かれ、私は思わず「ハイ！」と手を挙げました。今になって思えば、ただ広島に行ってみたいという単純な理由だったと思います。でも、その気持ちに変化が現れたのは、結団式の時です。一緒に参加する他校の友達と顔を合わせたり、市長さんや教育長さんから言葉の言葉を聞いてるうちに、とても責任のある事業に参加するんだと気付きました。少しきん張してきました。

私が今回、広島で見学したのは、広島平和記念公園と資料館、参加したのは、平和記念式典とひろしま子ども平和の集いです。見学した中で、特に印象に残っているのは、七十九年前の被爆のおそろしさを今に伝える原爆ドームと資料館に展示されていた写真です。ドームは、市内の中心部、緑豊かな公園の中



にあり、かべと骨組みだけが残っている様子は、そこだけ時間が止まっているようでした。資料館の写真は、原爆でこわれたり焼けたたりした建物や体じゅうにやけどを負い皮ふかただれてしまっている人など見るのが辛くなるような写真ばかりでした。

そして二日目に参加した、平和記念式典は日本の国だけでなく、外国からの出席者も多く、重々しいふん囲気をととも感じました。

七十九年前に、一発の原子爆弾が落とされ、たことにより、美しいまちの様子は変わり、て、多くの人の命がうばわれました。そして今でも多くの被爆者が心と体に不安を持って生きています。式典の中で広島の小学生が平和への誓いを述べました。その中で「私たちにできる平和への一歩 ヒロシマを学び感じましょう。家族や友達と平和の尊さや命の重みについて語り合いました。」と言っていました。今まで私の中で戦争とは、テレビや本などで知るだけの遠い昔のこと、と



いうイメージでした。が今回広島に行ったことで原爆や戦争の悲しさも少しだけ身近に感じることができました。そして「平和」ということを改めて考え大切になければいけないと感じました。そのためにはまず、いつもそばにいる家族や近くにいる友達をも大切にすることから始めようと思います。

最後になりましたが今回一緒に行って下さった市役所の方、先生、仲良くしてくれた友だち、たくさんお世話になりました。ありがとうございました。

うございました。

貴重な経験ができたよい夏休みになりました。